

# 狛江市のごみ処理経費について

皆さまの家庭から出るごみの処理には、多額の費用がかかり、貴重な税金でまかなわれています。

平成26年度の狛江市のごみ処理総経費は1,160,673,382円でした。

これを年間1人当り・年間1世帯当りに換算すると次のようになります。

## 年間1人当りのごみ処理経費

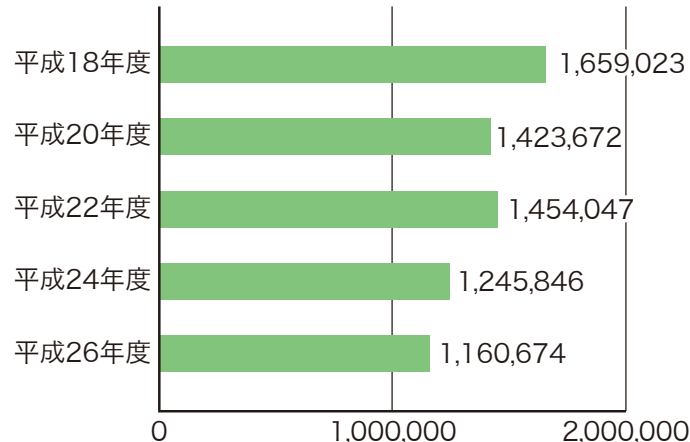
1,160,673,382円 ÷ 79,244人(平成27年4月1日現在人口) ≒ 14,647円

## 年間1世帯当りのごみ処理経費

1,160,673,382円 ÷ 39,760世帯(平成27年4月1日現在世帯数) ≒ 29,192円

### ごみ処理総経費の推移

(単位：千円)



また、種類ごと1kg当りの処理経費は次のようになります。

燃やせるごみ	燃やせないごみ	金属	ビン・缶	ペットボトル	古紙・古布	植木せん定枝
55.08円/kg	77.66円/kg	50.03円/kg	79.01円/kg	202.73円/kg	25.87円/kg	60.17円/kg

ごみのリサイクル化がすすんでいることなどにより、ごみの処理経費は減少しています。しかし、限りある資源やごみの処理費用を減らすためには4Rに取り組むことや、ごみと資源の分別を徹底をすることが大切です。

## もっと環境にやさしい生活をしませんか!

ペットボトルや空き缶、空きびんは、リサイクルが進んでいますが、多額の費用と資源を投入しています。

リサイクルすれば、地球にやさしいと考えがちですが、リサイクルの前にできることがあります。リサイクルの前に生活を見直し、4Rを実践することで、資源・エネルギーの無駄使いを減らしていくことが大切です。

みなさまも4Rにチャレンジしてみませんか。「リサイクル」よりも「先にすること」があります。

- ① **R**efuse (リフューズ):断る  
マイバックを利用しレジ袋をもらわない。必要以上に買わない。
- ② **R**educe (リデュース):減らす  
使い捨て商品の使用を減らし、できるだけ物を長く大事に利用する。
- ③ **R**euse (リユース):再使用  
使い終わったものを、洗ったり直したりして、繰り返し使用する。
- ④ **R**ecycle (リサイクル):再利用  
捨てるときに資源として活かせるようきちんと分別する。



### みなさんにできること

- 過剰包装や不要な包装を避ける。(①)
- マイボトル(水筒)を持ち歩く。(②)
- スーパーのレジ袋の代わりにマイバックを！(①②)
- 再生品(リサイクルにより作られた製品)を利用する。(③)
- 容器は再使用できるものを選び、詰め替え商品を利用！(②)
- 割り箸を使わず、マイ箸を持ち歩く。(①②)
- リサイクルショップやフリーマーケットを利用する。(③)
- ゴミはきちんと種類別に分別し、定められた場所に出す。(④)

小さなことでもみなさんが継続して取り組むことで、ごみの減量には大きな効果が期待できます。

## 第9期 ごみ半減推進審議会より答申が提出されました

平成28年1月14日に答申が市長に提出されました。

今後の市の清掃行政に関する重要なものです。詳しくは清掃課まで。